

富士見市新庁舎建設基本計画（案）に関する市民説明会

質疑要旨

日 時	令和6年2月1日（木）	開会 午後7時00分 閉会 午後8時10分
場 所	ふじみ野交流センター 多目的ホール	
参加人数	14人	
出席者	星野市長 浅井副市長 古屋総務部長 平澤新庁舎整備室長	
事務局	新庁舎整備室	
概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 市長あいさつ 3 説 明 <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎整備事業について（市長） ・富士見市新庁舎建設基本計画（案）について（新庁舎整備室長） 4 質疑応答 5 閉 会 	
質疑応答・意見		
参加者	浸水区域で低層階に窓口を設置するとのことだが、浸水時の問題はないのか。	
総務部長	1階に窓口機能やにぎわい機能を配置する想定であり、浸水のリスクはあるものと考えている。対策としては、2階以上のフロアは想定浸水深よりも高いレベルに設定することとし、主要な電気設備等は2階以上に配置する。	

参加者	<p>市民課などが浸水した場合、書類などが水没してしまうということか。費用的に大変なのはわかるが、1階部分を駐車場にすることはできないのか。</p>
総務部長	<p>1階部分を駐車場とすることで、事業費が大幅に増加することから、計画（案）はそのような対策を講じる内容とはなっていない。また、利便性の観点からすると、平常時は窓口等が1階にあるほうが使いやすい。浸水時の業務継続性は、ソフト面を含めて継続的に検討を行っていく。</p>
参加者	<p>新庁舎の面積は12,200㎡とのことだが、志木市に比べて富士見市は15%程度人口が多い。志木市の新庁舎面積はどの程度か。 また、可変性を確保するため、面積は余裕をもった計画としてほしい。</p>
総務部長	<p>志木市庁舎の延床面積は11,000㎡程度と認識している。しかし、地下駐車場の面積もこの中に含まれていると推察され、実態はそれよりも小さいものと思われる。本市と志木市では庁舎に備えている機能にも違いがあるため、一概に比較できるものではないことはご理解いただきたい。 意見を取り入れながら今後の検討を行っていききたい。</p>
参加者	<p>新庁舎の面積について。サーバー室・電話交換室等の面積が現庁舎と比較して減っているが、どのような考えか。また、書庫・物品庫は分館を使用することのことだが、分館は書庫・物品庫として利用するのみか。</p>
総務部長	<p>分館は延床面積が約1,700㎡あるが、廊下等を除き使用可能な面積が概ね1,200㎡である。 書庫・物品庫に加え、封入作業等を行う作業室等も設置する想定である。</p>
参加者	<p>駐車場の収容台数は230台程度とのことだが、どのような考え方で算出を行ったのか。他自治体の市庁舎において、駐車場の収容台数が少なく困った経験があるため、気になるところである。</p>
総務部長	<p>公用車の駐車台数と合わせて230台程度としており、来庁者用として開放するのは130台程度の想定である。現状、来庁者用は、現庁舎で95台、健康増進センターで60台程度である。これらを合算すると160台程度だが、集約化に伴う健康増進センターの交通アクセス向上を考慮して30台減らし、130台としている。</p>

参加者	<p>駐車マスの大きさは駐車の手やすさに配慮して大きめにとってほしい。</p>
総務部長	<p>意見を取り入れながら今後の検討を行っていききたい。</p>
参加者	<p>窓口の民間委託の可能性について説明があったが、民間委託の有無と施設のつくり方は別問題ではないか。</p>
総務部長	<p>基本計画（案）は、ハード面を中心としつつ、市役所の使い方などソフト部分の運用についても検討し、記載しているところである。市民サービスの向上のために一部のソフト面についても触れている。</p>
参加者	<p>能登半島地震があったことから、ソフト面での質問。市役所は災害対策本部の設置場所である。災害時の備蓄品の量はどの程度を想定しているか。</p> <p>能登半島地震では水道の問題があった。同様に災害の際の水不足に対応できるよう、井戸を庁舎敷地内に掘ることはできないのか。</p> <p>荒川が氾濫した場合、市役所が水没することだが、外部との連絡用に屋上にヘリポートがつかれないか。</p>
総務部長	<p>現状、市民用の防災備蓄は学校等、避難所に指定されている施設に備蓄している。新庁舎には災害応急活動従事者用の備蓄品保管スペースを一部確保する。</p> <p>井戸等、水不足に対する具体的な検討は行っていないが、水の備蓄に関しては行う予定である。</p> <p>ヘリポートの設置については検討を行ったが、現在のところ設置する考えはない。なお、地域防災計画において災害対策本部の代替施設を設定しており、第1順位：鶴瀬公民館、第2順位：水谷公民館となっている。水害時に市役所が使えなくなった際はそちらに機能を移すことになっている。このように、災害対応についてはソフト面の対応についても検討する必要があると考えている。</p>